

教授

赤川 学

AKAGAWA, Manabu

1. 略歴

1990年3月	東京大学大学院社会学研究科社会学修士課程修了
1995年	東京大学大学院社会学研究科社会学博士課程単位取得退学
1995年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助手
1995年	専修大学文学部社会学科非常勤講師
1996年	富山大学人文学部非常勤講師
1998年	徳島大学総合科学部非常勤講師
1999年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座講師
1999年	信州大学人文学部人間情報学科非常勤講師
2000年	筑波大学第一学群社会学類非常勤講師
2001年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座助教授
2002年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助教授
2005年	名古屋大学大学院国際多元文化専攻ジェンダー論講座非常勤講師
2006年	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専門分野准教授
2018年11月	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専門分野教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会問題の社会学

歴史社会学

b 研究課題

セクシュアリティの歴史社会学

人口減少社会論

社会問題の構築主義アプローチ

社会関係資本の実証的分析

c 概要と自己評価

概要: 以下の領域を中心に研究を進めている。

- (1) 社会問題プロセスの理論化
- (2) 近代日本におけるセクシュアリティをめぐる言説の変容
- (3) 人口減少社会を前提とした制度設計・社会構想
- (4) 社会関係資本の測定を基盤にした地域再生

自己評価

(1) に関しては、少子化対策や有害コミック規制などの具体的な社会問題を取り上げ、その言説や政策の形成プロセスに関する理論形成を試みている。(2) に関しては、明治期初頭の性科学書『造化機論』の翻訳過程を追尾している。(3) については、少子化対策をやめて、人口減少を前提とした年金制度、経済成長、都市-農村間の財・サービスの分配などに関する論文をいくつか執筆した。(4) については、集落・村落レベルで社会関係資本を測定し、それが地域社会の持続可能性を生み出すかいなかに着目した研究を継続している。

d 主要業績

(1) 著書

共著、赤川学、「清内路の地域力を比較する」、吉田伸之編『山里清内路の社会構造』、349-363頁、山川出版社、2018.9

(2) 論文

赤川学、「ソーシャル・キャピタルは川崎市地域包括ケアシステムの構築に役立つか?」、『死生学・応用倫理研究』、No.24、35-51頁、2019.3

Manabu, Akagawa, Does Social Capital Improve Community-based Integrated Care Systems?, Journal of Asian Sociology, Institute for Social Development and Policy Research, Seoul National University, 48(4): 509-522, 2019.12

(3) 学会発表

国内、「高田保馬の少子化論に学ぶ」、日本人口学会第70回大会企画セッション⑥、明海大学、2018.6.3

国内、「明治期の性教育言説：性情報空間の変遷に着目して」、日本人口学会第71回大会「性に関する情報の伝達と人口」、香川大学、2019.6.1

国内、「高田少子化論の進化論的基盤」、第90回日本社会学会大会テーマセッション「進化論と生物学と社会学」、甲南大学、2018.9.15

国内、「ソーシャル・キャピタルは健康と幸福度を高めるか：川崎市地域包括ケアシステムの場合」、第91回日本社会学会大会一般報告・地域社会・地域問題（2）、東京女子大学、2019.10.5

(4) その他

エッセイ：「世界一孤独？ 日本の中老年男性が絶対無視できない「悲しき未来」、現代ビジネス、2018.4.28 掲載

エッセイ：「人口減少は本当に危機か？ 大問題でないと言える「シンプルな理由」、現代ビジネス、2019.1.2 掲載

ワーキングペーパー：「ソーシャル・キャピタルと健康・幸福度の因果推論—ソーシャル・キャピタルは健康と幸福度を高めるといえるか—」、東京大学文学部社会学研究室ワーキングペーパーS-9、2019.5

エッセイ：「子供を持ちたい」と願う女性でさえ性交頻度が少ないという事実」、現代ビジネス、2019.6.26 掲載

エッセイ：「150年前の日本人はどんな「性情報」を得ていたか、常識の大転換」、現代ビジネス、2019.11.18 掲載

(5) 受賞

国内、赤川学、Manabu Akagawa、計画行政学会論説賞、計画行政学会、2018.9.7

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本社会学会、理事、2015.9～2018.9

国内、日本社会学会、社会学評論編集委員会査読委員、2018.10～

(2) 他機関での講義等

非常勤講師、慶應義塾大学文学部「社会問題の社会学」、2016.9～

非常勤講師、お茶の水女子大学文教育学部「ジェンダー論演習Ⅱ」、2018.10～2019.3

非常勤講師、早稲田大学政経学部「理論社会学」、2019.4～2019.9

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

川崎市精神保健福祉センター、「広義のひきこもり支援ニーズ調査」委員会・委員